
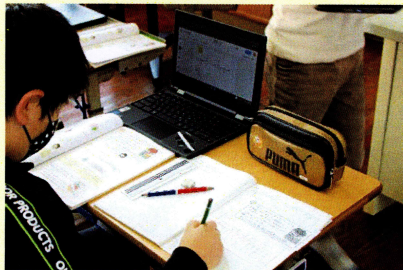



## 第3学年及び第4学年の授業の手立てと児童の反応

手立て	児童の反応
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ タブレットの問題（キュビナ）に答えさせながら既習事項を振り返らせることにより、本時の学習がスムーズに進むようにした。（3年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既習事項を振り返ったことで、本時の学習内容がスムーズに進んだ。</li> </ul>  <p>【タブレットで既習事項を復習する児童】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「つかむ」段階において、Jumbordに数段階のヒントを準備し、できるだけ自力解決ができるようにした。（3・4年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数段階のヒントがあったことで、児童が自分の理解に合わせて、選択し、自力解決をすることができた。</li> </ul>  <p>【ヒントカードを見ながら自力解決を図る児童】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「調べる」段階において、自分の考えを表現する手立てを、ノートとタブレットから自分で選択できるようにし、個別最適化を図った。（4年）</li> <li>○ 「調べる」段階において、ペアでの話し合いを取り入れ、友達の考えをもとに、自分の考えを確認したり、分からないところを教え合ったりするようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童、それぞれが、自分で表現しやすい方を選べることで、表現する意欲につながった。</li> <li>○ ペアでの学習の段階で、自分の考えや答えを確認し合ったり、教え合ったりでき、理解が深まった。</li> </ul>  <p>【話し合いをする児童の様子】</p>

### 授業の成果と課題

#### (1) 成果

- タブレットを活用して、既習事項の振り返りや、ヒントカードの提示を行ったことで、児童の理解度に合わせて問題やヒントを作成することがスムーズにできるようになり、児童が理解を深めることができた。
- 児童がペアで話し合いをしながら、自分達で自分の分からないところを解決する姿が見られた。話し合いを入れていくことで、個に応じた指導につながっていた。

#### (2) 課題

- ヒントの内容や、提示の仕方など教材分析をする必要がある。
- 練習問題の際にも、分からない時は児童同士で相談ができるようにするとよかった。